

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

保険・一般常識 試験問題用紙

(2021年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った受験番号を記入すると採点できませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. 試験時間は正味50分です。
11. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
12. 試験時間中の私語は禁止します。
13. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
14. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
15. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
16. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて
解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から 1 つ選び、その番号を答えてください。

1. 物件の種類と判定について

- ア. 併用住宅建物に付属する物置は、家財のみを収容している場合、住宅物件となる。
- イ. 物件の判定において、工場敷地内にあっても、工場の囲い（塀、垣、柵等）の外に所在し、かつ、その囲いから 10m 以上の距離にある倉庫は倉庫物件となる。
- ウ. 農家や漁業者の住宅で、農業用または漁業用の什器、備品、機械もしくは工具を常時収容する場合の建物と家財は、住宅物件とすることができる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 一つの建物および建物の構造級別について

ア. 住宅物件において、単に通路のみに使用される渡廊下で、本屋と共通の屋根を有しないものは、別個の建物として取り扱うことができる。

イ. 取りこわし中の一般物件（一般建物以外）の構造級別は、工事着工前の構造級別にかかわらず3級となる。

ウ. コンクリート造建物である一般物件（一般建物）の構造級別は、2級となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題2】

Aさんは、自宅建物に保険金額 3,000 万円で約定付保割合 100%の価額協定保険特約付きの住宅総合保険契約を締結していました。過日、その建物が火災の発生により全焼（全損）するとともに、隣家3世帯の住宅建物3棟のそれぞれ一部が類焼しました。

損害調査の結果、Aさんの建物の罹災時の保険価額は3,000万円で、同建物の損害額は再調達価額（新価）基準で3,000万円、時価額基準で2,500万円と判明しました。また、この火災により、保険の対象の残存物の取片づけに必要な費用として、180万円を要しました。

この場合、次の1～4で支払われる保険金の金額を解答用紙に記入してください（支払われない場合には解答用紙に「なし」と記入してください）。

なお、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

1. 支払われる損害保険金は、いくらになりますか。
2. 支払われる残存物取片づけ費用保険金は、いくらになりますか。
3. 支払われる特別費用保険金は、いくらになりますか。
4. 支払われる失火見舞費用保険金は、合計でいくらになりますか。

【問題3】

次の1～6の記述は、店舗総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、水災による床上浸水で保険の対象に一定の損害が発生した場合、水害保険金が支払われるが、ここでいう床上浸水とは、居住の用に供する部分の床（畳敷または板張等のものをいい、土間、たたきの類を含む）を超える浸水をいう。
2. この保険では、被保険者側に属する者の労働争議に伴う暴力行為、破壊行為により保険の対象に損害が生じた場合、その損害は損害保険金の支払い対象とはならない。
3. この保険では、盗難（強盗、窃盗またはこれらの未遂）によって保険の対象である商品・製品等について生じた盗取、損傷、汚損の損害は、損害保険金の支払い対象とはならない。
4. この保険では、火災により保険の対象の建物に損害を受けた結果、その建物を復旧するために要した損害の原因の調査費用（居住の用に供する部分にかかわる費用および被保険者またはその親族もしくは使用人等にかかわる人件費を含む）が生じた場合、損害保険会社の承認を得て支出した必要かつ有益な費用に対して、修理付帯費用保険金が支払われる。
5. この保険では、除雪作業による事故で保険の対象に20万円以上の損害が生じた場合、その損害は損害保険金の支払い対象となる。
6. この保険では、損害保険金の支払額がそれぞれ1回の保険事故につき保険金額（保険価額限度）の80%に相当する額を超えた場合、保険者が被保険者に保険金を支払った時に、この保険契約は終了する。

【問題4】

Bさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	3,200万円	80%	2,100万円	3,500万円
Y建物 (乙保険会社)	2,800万円	90%	2,300万円	2,500万円

【問題5】

火災保険の特殊契約方式に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 付保割合条件付実損払特約を付帯できる適用物件は、物件種別が一般物件の場合、1級および2級の構造級別の建物、またはこれらの建物に収容される動産である。
- イ. 特殊包括契約に関する特約条項では、同一敷地内に所在し、かつ、同一保険契約者が所有する「建物」および「設備・什器等」が保険の対象となる。
- ウ. 火災通知保険特約では、罹災直前の通知日における通知額が実際の在庫価額に不足していた場合、保険金は削減されて支払われる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題6】

店舗休業保険および利益保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 店舗休業保険では、保険証券記載の建物等に隣接するアーケード（屋根おおいのある道路およびその屋根おおい）またはそのアーケードに面する建物等は、保険の対象に含まれない。
- イ. 利益保険のてん補期間は、保険の対象が担保危険による損害を受けた時に始まり、その損害の営業に対する影響が消滅した状態に営業収益が復した時に終わるが、てん補期間が約定されている場合は、約定てん補期間を超えない期間、てん補期間が約定されていない場合は、12か月を限度とする。
- ウ. 利益保険では、火災保険普通保険約款（利益保険用）およびこれに付帯された特約によって保険金が支払われない損害により生じた損失に対しても保険金が支払われる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題7】

火災保険の拡張補償特約に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. ガラス損害補償特約の適用建物は、住宅物件および一般物件の建物であり、工場物件の建物は一切引き受けることができない。
- イ. 雪災危険補償特約では、一般物件および工場物件のうち、建築中の屋外設備・装置も適用物件の対象となる。
- ウ. 給排水設備不時放水危険補償特約では、スプリンクラー設備、装置以外の水槽、給排水設備または水管に生じた損害に対して保険金が支払われる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題8】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

1. 保険の対象および契約方法について

- ア. この保険では、居住の用に供する建物と同一の所有者が所有する畳、建具その他これらに類する物や設備のうち建物に付加したものについては、生活用動産（家財）に含めて契約する場合に限り、保険の対象に含まれる。
- イ. この保険では、常時、居住の用に供しうる状態にある営業用の貸別荘については、保険の対象とすることができる。
- ウ. この保険では、区分所有建物において、専有部分が居住の用に供されない場合、その共用部分の共有持分については、保険の対象とすることはできない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 損害の認定および保険金の支払いについて

- ア. この保険では、保険の対象である建物または生活用動産が全損に至らないで保険金が支払われた場合、保険金額は自動復元され、減額されることはない。
- イ. この保険では、保険期間が始まった後でも、地震保険契約の保険料と地震保険契約が付帯されている火災保険契約（主契約）の保険料との合計額を領収する前に生じた事故による損害に対しては、保険金は支払われない。
- ウ. この保険では、48 時間以内に生じた 2 以上の地震等は、これらを包括して 1 回の地震とみなすが、被災地域が全く重複しない場合には、おのおの別の地震等として取り扱う。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題9】

Cさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は3,600万円、生活用動産（家財）の保険金額は900万円で住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することにし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください（支払われない場合には「なし」と解答用紙に記入してください）。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額については、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とし、契約始期日および地震発生日は2017年1月1日以降であることを前提とします。また、算出した金額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

[損害の状況]

	建 物	生活用動産（家財）
損 害 額	1,200万円	700万円

(注) 建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害額は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害額とします。

1. 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
2. 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。

【問題 10】

次の1～4の記述は、火災保険による債権の保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 質権は、質権設定者が担保物を質権者に引き渡すことによって効力を生じるので、火災保険の保険金請求権に質権を設定した場合には、質権設定者は質権設定と同時に保険金請求権の債権証書である保険証券を質権者に引き渡さなければ質権は設定できない。
2. 債権保全火災保険を付保することで債権を保全する方法の短所は、債務者の所在が不明な場合、保険契約を締結できないことである。
3. 保険金請求権に質権を設定するに当たって、債権者（質権者）は保険契約の当事者ではないので、保険契約上の義務を負わない。
4. 抵当権者特約を付帯して保険金請求権を譲渡する方法の短所の1つとして、保険契約者または被保険者が、通知義務を履行しない場合や追加保険料を支払わない場合に、抵当権者が代わってこれらの義務を履行しなければならないことが挙げられる。

【問題 11】

次の1～6の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものを3つ選び、その番号を答えてください。

1. 機械保険では、ビル付帯設備包括契約特約を付帯することで、通常は免責となっている火災や化学反応による破裂・爆発による損害は保険金の支払い対象となるが、地震による損害は保険金支払いの対象とはならない。
2. コンピュータ総合保険（情報機器および情報メディアの保険）では、火災や盗難、電氣的・機械的事故等の偶然な事故によって保険の対象である情報機器または情報メディアに損害が生じた場合、その損害は保険金の支払い対象となるが、台風や暴風雨等による洪水や高潮によって保険の対象である情報機器または情報メディアに損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。
3. 土木工事保険の控除額は、全ての事故による損害に対して工事の種類、規模、現場の状況などに応じて、都度設定する。
4. 建設工事保険では、鋼構造物を主体とする工事や建物の基礎工事、またはガス・水道工事等の付帯工事のみを施工する工事は保険の対象となる工事に含まれる。
5. 組立保険では、保険金が支払われた場合、保険金額からその支払われた額を差し引いた残額がそれ以降の保険期間に対する保険金額となる。
6. 賠償責任保険の「生産物特別約款」では、医薬品の調剤、その他の専門的職業行為に起因して、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被った損害は、保険金支払いの対象とはならない。

【問題 12】

自動車保険の対物賠償保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

1. 被保険者・事故発生時の義務について

- ア. この保険では、第三者が被保険自動車を使用することを記名被保険者が知りながら反対の明示をしなかった場合、記名被保険者の直接の承諾があったものとして、当該第三者は許諾被保険者として取り扱われる。
- イ. 被保険者は、保険事故により被保険自動車を修理する場合、必要な応急の仮手当を含めて保険会社への修理着工の事前承認が必要である。
- ウ. この保険では、対物事故が発生した場合で、損害防止費用のうち、応急手当、護送、診療など緊急措置のために要した費用を保険契約者または被保険者が支出し、後日、損害賠償責任のないことが判明したときは、これらの費用は緊急措置費用として損害の一部とみなして保険金支払いの対象となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 保険金について

- ア. この保険の保険金請求権は、対物事故が発生した時から発生する。
- イ. この保険では、被保険者が被保険自動車に妹を乗せてドライブに出かけた際、運転を誤って街路樹に衝突し、助手席の妹の財物に損害が生じた場合、その損害は保険金支払いの対象とはならない。
- ウ. 損害賠償請求権者（被害者）の保険金請求権は、損害賠償請求権者以外の第三者に譲渡することはいっさいできない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 13】

次の1～6の記述は、保険法について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 保険法では、保険契約者等を保護するため、保険契約者等に不利な規定は無効とする「片面的強行規定」が定められているが、海上保険契約には「片面的強行規定」は適用されない。
2. 協定保険価額とは、損害が生じたその時の被保険利益の価額のことをいう。
3. 損害保険契約の解除の効力は、将来に向かってのみ生じる。
4. 超過保険契約については、保険契約者および被保険者に軽過失があった場合、超過部分について損害保険契約を取り消すことはできず、約定保険価額についても同様に取り消すことはできない。
5. 通知義務違反による損害保険契約の解除権は、保険者が解除の原因があることを知ったときから1か月間行使しないとき、または危険増加が生じたときから10年を経過したときに消滅する。
6. 保険契約は、他の法律に特段の定めがない限りは、原則として保険法の規定が適用される。保険法に規定がないものについては民法が、民法に規定がない時は商慣習が適用される。

【問題 14】

次の1～6の記述は、損害賠償の法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 軽過失による失火で借家の焼失および隣家を類焼させた場合は、失火責任法による規定により、隣家の所有者に対して損害賠償責任を負うことはなく、また家主に対する損害賠償責任も負わない。
2. 責任無能力者の加害行為による損害は監督義務者が賠償することになるが、その監督義務者には幼稚園の職員はいつさい該当しない。
3. 共同不法行為者の連帯責任における「不真正連帯債務」では、一人の債務者の債務が免除されても、その他の債務者に対する債務は免除されない。
4. 裁判で不法行為責任を追求する場合、例外なく被害者側に挙証責任があり、「加害者の故意または過失により損害を受けたこと」を証明しなければならない。
5. 契約当事者間で「損害賠償額の予定」をした場合、裁判所はその額を増減することはできない。
6. 不確定期限付きの債務は、期限の到来後、債権者が相当の期間を定めて催告をしない限り、債務者は履行遅滞を生じないと解される。

【問題 15】

次の1～6の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。その内容が適切なものには○で、不適切なものには×で、それぞれ答えてください。

1. 製造物責任における「製造上の欠陥」とは、製造工程において、「原材料・部品の不良」「製品への異物の混入」「製品の強度不足」などによって、製品の安全性が欠けることをいう。
2. 投機的リスクのうち、市場リスクはリスクの分散が可能であるため保険の対象となるが、信用リスクは「社会的・経済的な要因」によって同時に損失が発生する可能性があるため保険の対象とならない。
3. ISO31000において、リスクマネジメントとは「リスクについて、組織を指揮・統括するための活動」と定義されているが、それはリスクの管理手法を指すのではなく、リスク管理体制を確立し、組織を適切に指揮・統括することにより、組織が一体となってリスク管理活動に取り組むことをいう。
4. リスク・コストに含まれる費用としては、「リスクの移転費用」「リスクの管理費用」「リスクの分散費用」が挙げられる。
5. ART の一種である天候デリバティブは、異常気象・天候不順を原因とする企業の収益減少リスクをヘッジするために利用される。
6. リスクの保有の形態のうち「キャプティブ」とは、リスク・プールとも呼ばれ、多くの企業が資金を拠出して資金プールをつくり、その中の1社が損害を被った場合、資金プールから損害を補てんする制度のことである。